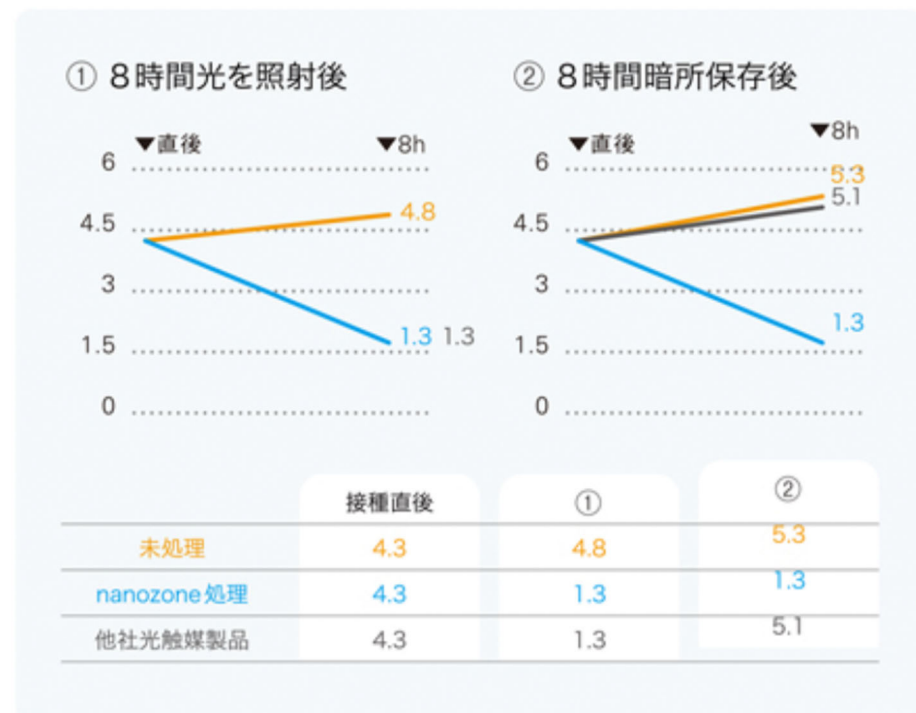


EVIDENCE



【黄色ブドウ球菌への効果】

『ナノゾーンソリューション』を噴霧し乾燥 『他社光触媒製品を噴霧し乾燥』 『未処理』。3種の不織布を2セット用意。それぞれに約1万個の黄色ブドウ球菌を付着し、下記条件下で菌数の変化を測定。



(自社比較)

- ① 8時間光照射したナノソリューションを吹き付けた不織布の菌数は1/100以下まで低下。
- ② 暗所保存した不織布も同じく1/100以下にこれは不織布を暗所に移すまでのわずかな時間の光に反応して光触媒反応を起こしているということです。この結果からナノゾーンソリューションが瞬時に菌やウイルスを不活化、臭いの原因となるアンモニアやVOCを分解しているということが証明されています。

一般社団法人カケンテストセンターでの試験結果報告書

For prompt report 速報用データ

No. OS-19-029360-1

試験報告書

依頼者 NanoZone Japan 合同会社 殿
品名 不織布 1点
試験項目 抗菌性

2019年8月1日付けで当所に提出された試料の試験結果は、下記のとおりです。
2019年8月20日

〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目5番19号
一般社団法人 カケンテストセンター
大阪事業所 生物ラボ
Tel:06-6441-0330 Fax:06-6441-6803

試験結果

No.	試料*	生菌数の常用対数値			静置 活性値	ΔS
		接種直後	8時間 光照射後**	8時間 暗所保存後		
①	「ナノゾルコンフォート」処理 原品	—	<1.3	<1.3	3.5	-0.4
	対照試料・[標準布(綿100%、白布)]	4.3	4.8	5.3	—	—

注* 紫外線放射照度 1mW/cm²、24時間のブラックライトによる事前照射を実施した。
** 紫外線放射照度 0.1mW/cm²のブラックライト照射下で試験を実施した。

試験方法: JIS R 1702:2012、ガラス密着法
供試菌: 黄色ぶどう球菌・Staphylococcus aureus NBRC 12732

試料 ①

以上

本報告書に記載の試験結果は供試品に対するものであり、商品(ロット)全体の品質を報告するものではありません。
事業/商品別の品質報告書については、当該商品は一切責任を負いませんので、念のため申し添えます。

確認作成